

各高等学校長 様

栃木県高等学校体育連盟会長 塩澤 好和
 栃木県高体連柔道専門部長 軽部 幸治
 （公印省略）

令和元（2019）年度全国高等学校総合体育大会柔道競技栃木県予選会の開催について

標記大会を下記のとおり開催することといたしました。

つきましては、貴校関係職員・生徒の参加について特段の御配慮をお願いいたします。

記

- 1 主 催 栃木県高等学校体育連盟・栃木県教育委員会
- 2 共 催 栃木県柔道連盟
- 3 主 管 栃木県高等学校体育連盟柔道専門部
- 4 期 日 令和元（2019）年6月17日（月） 午前8時20分集合 男子・女子個人試合
令和元（2019）年6月22日（土） 午前8時20分集合 男子・女子団体試合
- 5 会 場 栃木県武道館（宇都宮市中戸祭1-6-3 TEL028-624-4632）
- 6 競技規定（1）試合は国際柔道試合審判規定（2017-2020）による。※2018年から規定変更あり。
及び方法（2）団体試合の男子はリーグ方式およびトーナメント方式、女子はトーナメント方式とする。個人戦は男女ともトーナメント方式とする。
（3）試合時間について
（ア）男子団体リーグ方式は3分、トーナメント方式は4分とする。
（イ）女子団体は準決勝より4分、その他は3分とする。
（ウ）男子個人試合はベスト8より4分、その他は3分とする。
（エ）女子個人試合は準決勝より4分、その他は3分とする。
※延長戦（ゴールデンスコア）は時間制限を設けない。
（4）優勢勝ちの判定基準について
（ア）団体試合は「技あり」または「僅差」以上とする。チームの内容が同等の場合は代表選手を任意に選出して代表戦を行なう。代表戦で得点差がない場合は、延長戦（ゴールデンスコア）により勝敗を決する。延長戦における優勢勝ちの判定基準は「技あり」以上もしくは指導差が出た時点で勝敗を決する。※「僅差」は指導差2とする。「技の内容」と「指導」の重み【一本勝ち＝反則勝ち＞技あり＞僅差】の順とする。
（イ）個人試合は「技あり」または「僅差」以上とする。技による得点が同等の場合は延長戦（ゴールデンスコア）を行い、「技あり」以上または指導差が出た時点で勝敗を決する。※「僅差」は指導差2とする。
（5）団体試合における勝敗の決定について
（ア）勝ち数の多いチームを勝ちとする。
（イ）（ア）で同等の場合は、「一本」勝ちの多いチームを勝ちとする。
※一本勝ちと反則勝ちは同等とする。
（ウ）（イ）で同等の場合は、「技あり」による勝ちの多いチームを勝ちとする。
（エ）（ウ）で同等の場合は代表戦を行う。
※代表戦はその対戦に出場した選手の中から任意に選出して行う。
※代表戦における勝敗は個人試合に準ずる。
（6）全国高等学校総合体育大会柔道競技大会の実施要項に準ずる。
- 7 参加資格（1）選手は学校教育法第1条に規定する高等学校に在籍する生徒であること。
及び制限（2）栃木県高等学校体育連盟に加盟している高等学校生徒で、（公財）全日本柔道連盟に2019年度登録予定が完成した者。
（3）平成12年4月2日以降に生まれたもの。ただし、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
（4）選手は団体・個人試合の出場を兼ねてよい。
（5）転校後、6ヶ月未満の者は、参加を認めない。（外国人留学生もこれに順ずる）ただし、一家転住等やむを得ない場合は、各都道府県高等学校体育連盟会長の許可があればこの限りではない。
（6）外国人留学生は卒業を目的として入学していること（短期留学は認めない）。
（7）団体試合について
（ア）男女とも1校1チームとし、全・定・通の混成は認めない。
（イ）男子チームの編成は、監督1名、選手5名、補欠1名の計7名とする。
※選手の配列及び体重の制限はない。
（ウ）女子チームの編成は、監督1名、選手3名、補欠1名の計5名とする。
※選手の配列及び体重の制限はない。
（エ）申し込み選手に事故が起き、選手を変更する場合は大会当日の審判・監督会議までに、校長の証明書を添えて申し出たもののみ認める。ただし、変更選手は男子2名、女子1名までとする。
（オ）シード校は同年度栃木県高等学校総合体育大会兼関東高等学校柔道大会栃木県予選会において男子ベスト8、女子女子ベスト4とする。
（カ）外国人留学生のチーム人員は1名以内とする。
（キ）合同チームでの参加を希望する場合は、専門委員長（宇北高校：吉澤）まで御連絡ください。

